



かん字のうた

かわさきひろし
川崎 洋作

く すみたく や
久住卓也絵

いわさきしよてん
岩崎書店

林はやしがありました 木きがふえて 森もりになりました
人ひとが 木きによりかかって 休やすんでいます
すまし顔がおの「林はやし」に「木き」がくわわると、おどけ顔がおの
「森もり」に大だいへんしん！ かん字じの形かたちから広ひろがるせかいをう
たった川崎洋かわさきひろしさんの詩しが、楽たのしい絵本えほんになりました。か
ん字じたちはユーモラスにうごきだ
し、詩しのせかいにさそいます。
出でてくるかん字じは、小しょう学がく一いち年ねん生せいで
ならうものばかり。声こゑに出だして読よむ
のもよし、ながめるのもよし、詩しと
絵えのハーモニーを楽たのしみましょう。

